

回覧



＼まちづくり講演会番外編(バスツアー)／

伊野やって未来こい！ ネット(出雲市伊野地区) の皆さんに会いにいこう！

2023 7.29(土) 8:15~15:30



当日スケジュール

- 8:15 役場駐車場集合・バスで移動
- 10:00~ よっ得!?伊野いち到着、見学
- 11:00~ 講演
- 12:00~ 昼食・交流会
- 13:00~ 若手まちづくりプレイヤー報告会
- 13:30~ 交流拠点空き家視察
- 14:00 伊野地区出発・バスで移動
- 15:30 役場到着予定

- ➡ 定員 30名 (先着順)
- ➡ 当日は8時15分までに役場職員 駐車場へ集合してください。
- ➡ 参加費1人1,000円(昼食代)
※当日集金します。

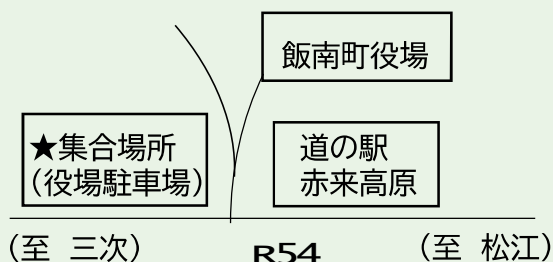
申し込みはここから



【URL】 <https://forms.gle/rcfwkABAMNba8>

※FAXの場合は
裏面申請書から

7.20(木) 17:00締切



【主催】飯南町まちづくり推進課

TEL:(0854)76-2864



伊野地区とは

地区の紹介

【みんなでやって未来こい！、未来へつなぐまちづくり】

伊野地区は島根半島の中央部にあり、出雲市の最東端に位置しています。日本海に面した町、里山風景が広がる町、宍道湖沿いの町の3町からなり、市内で唯一日本海から宍道湖までつながっています。海あり、山あり、宍道湖ありと、食材豊かで漁業や農業が盛んな地域です。

高齢化とともに人口減少が進んでいる伊野地区では、自治協会を中心に子育て・教育支援、産業振興、関係人口づくりなどに取り組み、2020年「伊野の未来を創る戦略会議」で将来ビジョンを作成しました。翌年、ビジョンの実行部隊である「伊野やって未来こい！ネット」が発足し、精力的に活動しています。

活動のきっかけ

出雲市では2012年から学校再編が進み、小学校を残すか否か、住民たちは選択を迫られました。伊野地区では保護者を含む検討委員会を中心に2年半にわたる丁寧な話し合いを重ね、小学校の存続を決定。残すさらには小規模校のデメリットを解消し、大きな魅力をつくらうと「学校×地域」の連携が始まり、その後のまちづくり活動のきっかけとなりました。

活動紹介

空き家からまちづくりの交流拠点に生まれ変わった「垂水邸」



子育て支援

地域産業の振興

その他

伊野地区の空き家活用の可能性を探るプロジェクトとして、空き家を改修した「垂水邸」が交流拠点に利用されています。改修の過程では地元の小学生が壁塗りに挑戦し、2021年から「田舎の小さな音楽会」と題したコンサートや、地区の女性たちによる梅シロップづくり、国際ワークキャンプの一環で留学生を招いての障子張り体験などが開催され、イベントを通じて地区内外の交流が生まれています。

小学生も参加する「伊野いち」は伊野地区まるごと産直市



子育て支援

地域産業の振興

伊野の農業者たちが、売り物ではない野菜を安価で提供しようと2014年から始まった年2回の産直市。農作物のほか、海の幸やパンなどの多彩な商品が並びます。2015年から伊野小学校5、6年生が総合的な学習の一環として、産直市の準備から販売まで一連の流れに関わり、子どもたちの元気な姿は「伊野いち」の名物となりました。毎回多くの人で賑わい、2020年には常設店舗「よっ得？！伊野いち」が国道沿いにオープンしました。

(引用「しまねの郷づくり応援サイト」より転用)

講師：多久和 祥司 さん（伊野やって未来こい！ネット事務局長）



島根県内で中学教員を定年まで勤めた後、生まれ育った出雲市伊野地区の自治協会会長に就く。

平成30年には協会の活動が評価され、あしたのまち・くらしづくり活動賞総務大臣賞を受賞する。10年後を見据えたまちづくりを推進するため、「やって未来こい！ENO暮らし2030」を策定。現在「伊野やって未来こい！ネット」事務局長。

FAXでの申し込み

飯南町 まちづくり推進課 行

(0854)76-3943

申込日

月 日

氏名	ふりがな	年代	
住所	〒 -		
連絡先			

※上記の情報は当事業以外の目的では使用しません。

大人だって、
青春しようぜ!



飯南町での暮らしを、もっと充実させたい人、大募集!

ミライツクルプログラム

2023

ミライツクルプログラム in 飯南町 へようこそ!

「田舎にいてもつまらない」「田舎にはなにもない」そんな声を聞くことがあります。
たしかに、若者が憧れるようなテーマパークや大型ショッピングモールはないかもしれません。

でも、ないからこそ、自分たちで作り出す楽しさやワクワクがある。
新しい世界に飛び込むことで、なにかに夢中になっている自分と出会えるかもしれない。
自分の気持ち次第で、世界の見え方は180度変わるのだ。

未来は作り出すことができる。
それは、自分の人生も、自分が住むまちの未来も。

飯南町だからこそできることや、今夢中になれることを見つけて、
飯南生活をワクワクするものに変えてみませんか。

ミライツクルプログラム

In飯南町

	日時・場所	内容
第1回	8月5日(土) 10:00-12:30 場所: みんなの広場 来島交流センター	レクチャー & チームビルディング 人生を楽しむ秘訣、「ライフキャリア」の考え方を学びます。 仕事と家庭だけでなく、趣味や地域や伝統芸能の時間など、 多様な暮らしのあり方が溢れる中で、 あなたは自分の人生をどのように生きますか。
第2回 (予定)	9月3日(日) 10:00-12:30 場所: 飯南町役場 2階大会議室	ワークショップ-タクラミ塾- 仲間と共に、飯南町を元気にするプロジェクトを企画します。 新しい活動を生み出すだけではなく、 既存の地域行事や日常の当たり前をどのようにすれば もっとワクワクさせることができるか、みんなで話し合しましょう。
第3回 (予定)	10月28日(土) 10:00-12:30 場所: みんなの広場 来島交流センター	想いをカタチにする、アクションデイ 第2回で考えた「タクラミ」を、仲間と共に、実際にやってみましょう。 頭で考えるだけではなく、 実際にやってみることで、見える景色があるはず。
第4回 (予定)	11月25日(土) 10:00-12:30 場所: みんなの広場 来島交流センター	振り返り会 本プログラムを通して、皆さんはきっと 未来をつくり出すタツジンになっているはず。 これからの飯南町でどのような未来をつくっていききたいか、 最後皆さんで話し合しましょう。

講師: 檜垣賢一さん



申し込みフォーム

締切
7/14
(金)

一般社団法人
豊かな暮らしラボラトリー(ユタラボ)代表理事

山口県生まれ育ち。大学進学を契機に東京へ移住。2016年に島根県益田市に移住。認定NPO法人カタリバ職員として益田市教育委員会に席を置き、市が掲げる「ライフキャリア教育」を推進。2020年4月にユタラボを創設。13人のスタッフと共に、全国の10-20代を中心とした若者に対して、ライフキャリアについて考える機会を届けている。

いずれかでお申し込みください。

- ① 申込フォームから送信(URL or QRコード)
 - ② 本用紙(下)に必要事項をご記入のうえFAX
 - ③ 必要事項をお電話で担当まで
- ※必要事項は「FAXでの申し込み」をご覧ください。

URL : <https://forms.gle/rx6ZUYw5PZquSoru8>

FAX : 0854-76-2221

TEL : 0854-76-2864



Faxでの申し込み

飯南町 まちづくり推進課 行

申し込み日 月 日

氏名	ふりがな		
住所	〒 -	連絡先1 電話番号	※日中連絡がつく連絡先をご記入ください。
年代		連絡先2 メール アドレス	

※上記の情報は当事業以外の目的では使用しません。

回 覧

令和5年6月20日

自 治 区 長 様

飯南町長 塚原 隆昭
(建 設 課)

災害報告について

平素は町政の推進に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、今年も梅雨期をむかえ、大雨による災害の発生が心配される時期となりました。災害対応は、迅速な状況把握が必要であり、皆様からの情報提供が不可欠です。
つきましては、万一、大雨等により貴自治区内で災害が発生した場合は、災害報告等について別紙によりご報告いただきますようご協力をお願いいたします。

記

1. 報告様式 別紙「災害報告書」によりご報告ください。
※町が県へ行う災害報告(災害復旧工事の申請手続き)は、災害終息後 10 日以内に行わなければならないとされています。「災害報告書」では間に合わない場合や、緊急を要する場合には、電話等でご連絡ください。
2. 報告先
 - 建設課 … 電話 76-3942 FAX 76-3943
 - 頓原基幹支所 … 電話 72-0311 FAX 72-1775
 - 来島支所 … 電話 76-2393 FAX 76-2845
 - 志々支所 … 電話 73-0001 FAX 73-0026
3. 土のう袋が必要な場合は、役場・各支所・谷公民館へ準備しています。また、土のうを役場・各支所・谷公民館へ配布しておりますのでこちらもご活用ください。
4. 参考事項
大雨による災害の復旧事業として国に採択される基準は、1日の雨量が80ミリ以上、または、1時間の雨量が20ミリ以上の降雨により発生した災害で、一定規模以上の災害が該当します。
国に採択された災害復旧事業は、原則として3年以内に工事を実施します。

記入例

災害報告書

自治区 自治区長

報告年月日：令和 ____年 ____月 ____日

自治会・組名	被災箇所	区分	被災状況	連絡先	備考
〇〇自治会	飯南太郎さん宅前の道路 飯南花子さん宅前から20m上流 ※なるべく具体的にお願いします。	国道54号 県道〇〇線 町道〇〇線 〇〇川 田・畑など	幅 20m 高さ 5m	飯南太郎さん宅 電話 〇〇-〇〇〇〇	日中は〇〇〇へ連絡 電話〇〇-〇〇〇〇

回 覧

令和5年6月20日

自治区長様

飯南町教育環境基本方針検討委員会
(教育委員会事務局)

「飯南町教育環境基本方針（答申案）」住民説明会の開催について

昨年度、飯南町の今後の教育や学校のあり方や、飯南町にふさわしい教育環境について基本方針を策定することを目的に教育環境基本方針検討委員会を立ち上げ検討を進めておりましたが、このたび答申案がまとまりました。

つきましては、教育環境基本方針答申案について、下記のとおり住民説明会を開催いたしますのでご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日時及び会場

地区	日時	会場
赤名地区	7月5日(水)19:00～	赤名農村環境改善センター
頓原地区	7月12日(水)19:00～	頓原拠点複合施設(交流センターとんぼら)
志々地区	7月19日(水)19:00～	さつき会館
来島地区	8月9日(水)19:00～	来島拠点複合施設(来島交流センター)

2. 内容

飯南町教育環境基本方針答申案について説明し、ご意見をお聞きします。

3. 参加

参加申込不要。当日会場へお越しください。

お問い合わせ
飯南町教育委員会
学校教育担当
TEL:0854-76-3944